
2011 年度 映画英語教育学会 (ATEM) 関西支部 第 9 回大会プログラム

シンポジウムテーマ： 「映画『十二人の怒れる男』徹底活用法」

日時： 平成 23 年 10 月 8 日 (土)

10:00AM ~ 17:30PM

会場： 京都女子大学・F 校舎 2 階模擬法廷教室

受付： F 校舎 2 階



(株) フォーイン スクリーンプレイ事業部協賛

The **A**ssociation for **T**eaching **E**nglish through **M**ovies

大会プログラム

総合司会： 倉田 誠 (ATEM 関西大会実行委員長兼副支部長・京都外国語大学)

10:00-12:00 映画『十二人の怒れる男』上映 (F校舎2階・模擬法廷教室)

12:20-12:30 開会の辞・支部総会 (F校舎2階・模擬法廷教室)

司会： 横山 仁視 (ATEM 関西事務局長兼副支部長・京都女子大学)

挨拶： 藤枝 善之 (ATEM 関西支部長・京都外国語短期大学)

研究発表

司会： 北本 晃治 (帝塚山大学)

12:30-13:00 1. 「映画に見る be to について」

衛藤 圭一 (帝塚山大学・非)

13:00-13:05 休憩

13:05-13:35 2. 「映画英語データにみる資格試験用語彙教材の妥当性」

山本 五郎 (広島大学)

13:35-13:40 休憩

13:40-14:10 3. 「映画の台詞に見られる描写述語の多様性」

松井 夏津紀 (タイ、チュラーロンコーン大学)

14:10-14:15 休憩

14:15-14:45 4. 「習熟度別教育に対応した映画教材の開発」

角山 照彦 (ATEM 会長・広島国際大学)

15:45-14:50 休憩

シンポジウム

司会： 横山 仁視 (ATEM 関西事務局長兼副支部長)

14:50-16:30 テーマ： 映画『十二人の怒れる男』徹底活用法

パネリスト：

1. <英語学の視点から>

「テレビ版と映画版の両方に観られる「穴構文」とその生産性」

倉田 誠 (京都外国語大学)

2. <アメリカ法の視点から>

「Beyond a reasonable doubt—「少年が父親を殺した」ことに合理的な疑いは残らないか？」

家本 真実 (摂南大学)

3. <英語教育の視点から>

「中等教育における映画『十二人の怒れる男』活用法」

松葉 明 (名古屋市立平針中学校)

16:30-16:40 休憩

特別講演

16:40-17:30 「陪審員制度と『十二人の怒れる男』」

司会： 藤枝 善之（支部長）
藤倉 皓一郎（東京大学名誉教授）

17:30

閉会の辞

横山 仁視（ATEM 関西事務局長兼副支部長）

18:00-19:30

支部交流会（「ザ・ブッフエスタイル サラ」、四条烏丸、COCON 烏丸 3F）

司会： 井村 誠（ATEM 関西研究委員長兼副支部長・大阪工業大学）

挨拶： 藤枝 善之（支部長）

研究発表概要

● 「映画に見る be to について」

衛藤 圭一（帝塚山大学・非）

本発表では、通例「予定」や「規則」などの意味を表す be to について扱う。一般に、同表現は硬い書き言葉で使用され、ここ数十年の間に使用頻度が減少していると言われている。しかし、映画英語のセリフに目を向けると、当該表現の使用が少なからず観察されることから、『刑事ニコ 法の死角』（1988）や『アウトブレイク』（1995）を含めた映画を題材に、その意味と機能を検討する。また、構成性の観点から、be to のもつ響きについても考察したい。

● 「映画英語データにみる資格試験用語彙教材の妥当性」

山本 五郎（広島大学）

資格試験用の英語語彙教材では、対象とするテストの出題傾向を考慮した結果、扱う単語が偏ったり単語の定義が限定的になってしまうというリスクがある。今回の発表では、TOEIC 対策用語彙教材で取り上げられている単語と定義の妥当性を、映画英語データで検証することで、語彙教材開発の課題について考察する。なお、検証対象としては、TOEIC 対策用教材の一環として広島大学で構築中の「広大スタンダード語彙リスト」を取り上げる。また、映画英語データについては『キャスト・アウェイ』（2000）や『ダイ・ハード 4.0』（2007）を含む2000年以降に公開された映画のデータベースを用いる。

● 「映画の台詞に見られる描写述語の多様性」

松井 夏津紀（タイ、チュラーロンコーン大学）

主動詞が表す行為に伴う主語や目的語の状態を述べる描写述語を含む描写構文は、映画の台詞にも多く見られる文構造である。描写述語には、形容詞タイプ（*[I]t would have eaten me alive.* 『ペネロピ』（2006））と名詞タイプ（*You either die a hero..* 『ダークナイト』（2008））のものがあるが、動詞と共に慣用句的に使われるというわけではなく、その使用例は多様である。本発表では『トロピック・サンダー 史上最低の作戦』（2008）などの映画に用いられている描写述語の使用法を考察し、それらの描写述語がどのような条件で出現しているのかという点について論じる。

●「習熟度別教育に対応した映画教材の開発」

角山 照彦 (ATEM 会長・広島国際大学)

学力の多様化が進む中、多くの大学で習熟度別教育が実施されており、教員もこれまで以上にきめ細かな指導が求められている。また、授業外での学習量を確保するためeラーニングを導入する大学も増加しつつある。大学英語教育を取り巻く昨今のそうした状況に、映画教材はどのように対応できるのだろうか。また、中・下位層の学生に対して動機づけを超える効果は果たして得られるのだろうか。本発表では、『ローマの休日』(1953)『シャレード』(1963)をいったパブリックドメイン映画を活用した習熟度別教材の開発と実践について報告したい。

シンポジウム発表概要

●「テレビ版と映画版の両方に観られる「穴構文」とその生産性」

倉田 誠 (京都外国語大学)

英語には、(1)のような「穴構文」と呼ばれる、特殊な構文が存在する。(1) Bruce kicked a hole in the wall. 「ブルースは蹴って、壁に穴をあけた。」<行為動詞+a hole / holes+ (in 名詞句)>というひな型があるが、目的語の位置にある a hole は動詞 kick によって選択される要素ではないことは一目瞭然である。本発表では、「穴構文」と他の類似現象を比較すると同時に、『十二人の怒れる男』の穴構文の生起例を始めに、他の映画の生起例を観察し、その生産性に焦点を当てた議論をする。

●「Beyond a reasonable doubt—「少年が父親を殺した」ことに合理的な疑いは残らないか？」

家本 真実 (摂南大学)

『十二人の怒れる男』では、最初にたった1人の陪審員が被告人を有罪だと断言できないと主張します。刑事裁判では、検察官が「合理的な疑いを超えて (beyond a reasonable doubt) 被告人が有罪と立証」できたかどうかを、言い換えれば被告人が犯罪をおこなった事実の有無を判断するのは陪審の役割です。そこで「合理的な疑い」とは何か、12人の陪審員はどこに「合理的な疑い」を見出したのかを考えたい。

●「中等教育における映画『十二人の怒れる男』活用法」

松葉 明 (名古屋市立平針中学校)

「物語は脚本さえ面白ければその場所に関係ない」という説を体現する作品として引き合いに出されることの多いこの『十二人の怒れる男』は、中学生に難しすぎるのではという声を聞きます。しかし、この作品を楽しみ、感動する生徒の数は中学生ですら少なくありません。英語という教科の枠にとらわれず、アメリカでリメイクされ、この作品を参考に、同様の映画が日本とロシアでも制作されている実情を多面的な角度から迫ってみたいと思う。

会場校キャンパスマップ



(通称) 女坂

市バス「東山七条」

※会場：⑰ F校舎 2階・模擬法廷教室

会場校へのアクセス

JR・近鉄「京都」駅より

- 烏丸中央改札口前 バスターミナル
市バス 206、208 または 100 で約 10 分、「東山七条」で下車し東へ徒歩 5 分
- 八条口前
プリンセスラインバスにて約 10 分、「京都女子大学前」(終点)で下車

阪急「河原町」駅より

- 1 番出口から京阪「四条」駅へ、京阪「七条」駅で下車し東へ徒歩 15 分

- 6番出口から市バス207で約15分、「東山七条」で下車し東へ徒歩5分
- 2番出口から河原町通を南へ約80m、プリンセスラインバス「四条河原町」より約15分、「京都女子大学前」(終点)で下車

京阪「七条」駅より

- 東へ徒歩15分
- プリンセスラインバス「京阪七条」より約5分、「京都女子大学前」で下車

プリンセスライン

- JR京都駅・四条河原町から京都女子大学までの直行バス運行！

プリンセスライン時刻表はこちら ↓

<http://www2.kyoto-wu.ac.jp/club/event/opencampus/bus.html>



これまでのATEM 関西支部大会シンポジウムテーマ

【支部大会】

2002年9月14日	映画英語教育学会関西支部設立決起大会開催 (於：京都外国語大学)
2003年9月14日	映画英語教育学会関西支部 第1回大会開催 (於：京都外国語大学) ●シンポジウム：「怪物映画に学ぶドラキュラ vs フランケンシュタイン Vs スパイダーマン」
2004年6月26日	映画英語教育学会関西支部 第2回大会開催 (於：京都外国語大学) ●シンポジウム：「"Working Girl" 徹底活用法」
2005年9月18日	映画英語教育学会関西支部 第3回大会開催 (於：京都女子大学) ●シンポジウム：「"DAVE" 徹底活用法」
2006年10月21日	映画英語教育学会関西支部 第4回大会開催 (於：大阪工業大学) ●シンポジウム：「"I am Sam" 徹底活用法」

2007年10月20日	映画英語教育学会関西支部 第5回大会開催（於：摂南大学） ●シンポジウム：「"The Devil Wears Prada" 徹底活用法」
2008年10月18日	映画英語教育学会関西支部 第6回大会開催（於：京都ノートルダム女子大学） ●シンポジウム：「"Anne of Green Gables" 徹底活用法」
2009年09月26日	映画英語教育学会関西支部 第7回大会開催（於：帝塚山大学） ●シンポジウム：「"LITTLE MISS SUNSHINE" 徹底活用法」
2010年09月25日	映画英語教育学会関西支部 第8回大会開催（於：近畿大学） ●シンポジウム：「"SHANE" 徹底活用法」

【映画英語学ワークショップ】

2009年5月9日	映画英文法ワークショップ 第1回大会開催（於：京都外国語大学） ●シンポジウム：「英語の時制表現に関する一考察」
2010年5月8日	映画英文法ワークショップ 第2回大会開催（於：京都外国語大学） ●シンポジウム：「認知言語学で読み解く映画の英語 一中・高・大の授業の活性化をめざして」
2011年5月14日	映画英語学ワークショップ 第3回大会開催（於：京都外国語大学） ●シンポジウム：「語用論で読み解く映画の英語」

※第3回大会よりワークショップ名を変更

お知らせ

【お知らせ：大会参加費について】

会員・非会員とも大会参加費は無料です。
どなたでも自由に参加できます。ご来場をお待ちしています。

【お知らせ：20名様に『評決』をプレゼント】

（株）フォーイン スクリーンプレイ事業部のご厚意により、スクリーンプレイ対訳本の『評決』（*The Verdict*）を抽選の上20名様に差し上げます。

（あらすじ）

元エリートの弁護士フランクはある事件をきっかけに落ちぶれ、酒浸りの日々を送っていた。友人の老弁護士ミッキーからも愛想をつかさ始めていたときに、彼から回された1つの事件が、彼の奥に眠る正義の魂を揺さぶる。法廷は弱者のためにあるのではない、弱者にチャンスを与える場所だという信念を胸に、弱者の味方となって立ち上がった。しかし、相手は教会という大きな権力に守られ、弁護士は悪魔顔負けのやり手で、判事もフランクに対して冷たい。挫折しそうになるフランクだが、権力の強みを利用する相手に憤慨し最後まで戦い抜く決意をする。果たして正義はどこにあるのか。（スクリーンプレイHPより）



【お知らせ：発表者の方へ】

発表者の控え室として、会場の隣の「模擬ラウンド法廷教室」を用意しています。ご利用ください。

【お知らせ：出版物展示】

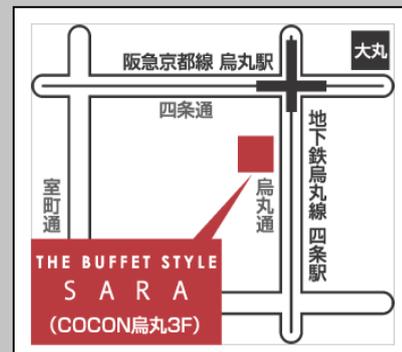
関西支部会員による出版物を中心に、会場前の通路に「展示コーナー」を設置します。会員諸氏の著書や教科書などを、積極的に持ち寄り展示してください。また、飲み物・お菓子類を用意しています。

【お知らせ：学内昼食場所】

A校舎地下1階に学生食堂があります。
当日土曜日は、10:00am～14:00pmまで利用可能です。

【お知らせ：交流会参加費について】

参加費は交流会会場にてお支払いください。
男性¥3,900、女性3,600円です。
学生の方は支部より¥1,000を補助します。
会員諸氏との交流および発表者との意見交換の場として是非ご参加ください。



映画情報

1957年、アメリカ映画
12 Angry Men



法廷サスペンスの傑作！

17歳の少年が父親殺しで起訴された。事件を審議する12人の陪審員のうち、11人の結論は有罪で一致。しかし、8番陪審員だけが有罪の根拠がいかに偏見と先入観に満ちているかを主張する。審判には12人全員の一致が必要だが、次第に少年の無罪を示唆する証拠が浮かび上がり、ひとり、またひとりと審判をひるがえしていく……。

暑く狭い陪審員室での、息苦しくなるような激論。互いに名も知らぬ男たちが、虚構をはぎ取られ、ぶつかり合う。ヘンリー・フォンダを筆頭に個性的な俳優たちが「細部にいたるまで完璧な演技」を見せ、密室劇にもかかわらず、一分のスキもない緊迫感をもって描ききる。

(DVDパッケージより抜粋)

新会員申込は本部 HP (<http://www.atem.org/>) から

電話・FAX または E-mail でお申込みください。

申込先：映画英語教育学会 事務局

〒169-0075 東京都新宿区高田馬場 4-3-12 アルク高田馬場 4F

株式会社 広真アド内

TEL: 03-3365-0182 FAX: 03-3360-6364

E-mail: office@atem.org

ATEM Kansai

<http://www.atem.org/kansai/index.html>

映画英語教育学会 (ATEM) 関西支部

事務局：京都女子大学・外国語教室

横山 仁視 研究室内

yokoyama@kyoto-wu.ac.jp